

地方創生関係交付金実施状況報告書

P2 地方創生関係交付金の概要

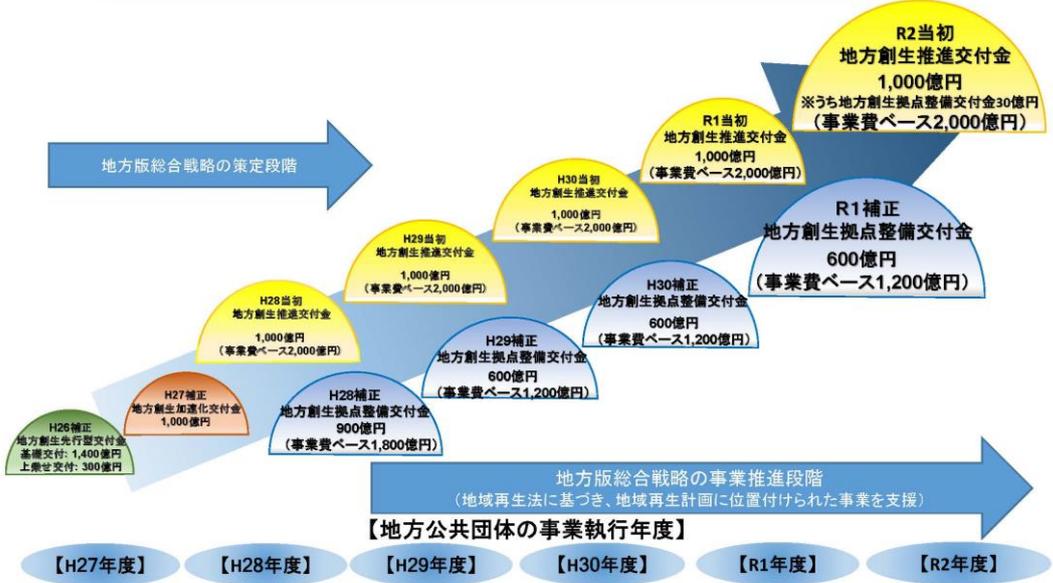
P3 花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)の達成度評価基準

P4～P6 地方創生関係交付金実施状況報告書(令和2年度)

地方創生関係交付金の概要

地方創生関係交付金の概要(イメージ)

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



出典: まち・ひと・しごと創生本部ホームページ

○花巻市における地方創生関係交付金の活用状況(令和2年度まで)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
基本目標①						
地方創生推進交付金		スモールビジネス推進事業				
		サービス業生産性向上事業				
			広域観光推進事業			
				いわてワインヒルズ推進事業		
地方創生拠点整備交付金 ※実線部: 整備期間 波線部: 効果検証期間		賃貸工場整備事業				
			童話村ステージ整備(R4.3.31まで)			
			東和B&Gセンター整備事業(R4.3.31ま)			
				道の駅石鳥谷整備事業R7.3.31ま		
基本目標②(交付金事業なし)						
基本目標③(交付金事業なし)						
基本目標④						
地方創生推進交付金				エリアリノベーション事業		

花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)の 達成度評価基準

1. 指標値に対する実績値の算出方法

$$\text{達成率(\%)} = \text{実績値} \div \text{目標値} \times 100$$

※小数点第一位を四捨五入願います。

2. 達成率の判定区分

a・・・100%以上 b・・・90%以上100%未満 c・・・90%未満

3. 達成度の判定

【A 達成できた】・・・KPIの達成率がすべて「a」

【B 概ね達成できた】・・・KPIの達成率の半数以上が「a」か「b」

【C やや達成できなかった】・・・KPIの達成率の半数未満が「a」か「b」

【D 達成できなかった】・・・KPIの達成率のすべてが「c」

資料2 地方創生推進交付金対象事業実績報告書(令和2年度)

No.	① 交付金の種類	② 交付対象事業の名称	③ 事業内容	④令和2年度事業実績	⑤令和2年度 事業費実績(円)	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R2 実績値	達成率 (自動 入力)	判定 (自動 入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未達成要因	⑩事業の評価	担当課
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月							
1	推進	エリアリノベーション事業 (都市政策課)	<p>(背景)リノベーションまちづくりの手法、リノベーション手法を用いた事業開発や遊休不動産活用に係る多様な課題について、地域内の関係事業者や専門家間で十分に認識されていない状況である。</p> <p>(事業の目的) 増え続ける空き家等を効果的に活用しながら民間の投資サイクル誘発を期待できるリノベーションまちづくり手法により、花巻市が直面している課題解決のため、さらなる民間投資、事業開発の動きを波及させる。</p> <p>(事業概要)遊休不動産と公共空間の効果的な活用を促進するエリアリノベーション事業</p> <p>(具体的な取組) まちなかのリノベーションビジネスを連鎖的に発生させるため、公共空間の高度活用について民間活力によって事業化し、両者に相乗効果をもたらす公民連携事業を生み出し、リノベまちづくり構想としてプロジェクト化する。</p>	花巻市リノベーションまちづくり構想策定委員会を計4回開催し、令和3年3月に民間委員による花巻市の将来的なまちづくりのビジョンをとりまとめた「花巻リノベーションまちづくり構想」が策定され、リノベーションブックが完成した。	10,232,000	指標①	リノベーション事業による新規雇用者(または起業家)	0	6	人	R3.3.31	6	100%	a	<p>(成果) ・リノベーションスクールの実施やリノベーション構想策定を通じて、まちづくりに意欲的な参加者による遊休不動産を活用したリノベ案件が事業化に至り、成果となっている。</p> <p>(今後の課題) ・遊休不動産は多数あるものの、物件の状態やオーナーの理解などの課題がある。また、スクールは令和元年度で実施終了しているが、引き続きまちなかの起業希望者の呼び込みが必要である。</p> <p>(課題解決に必要な取り組み) ・オーナー訪問による理解促進 ・空き店舗の見学会の実施 ・家守会社やリノベーション実施事業者との情報共有など。</p>	都市政策課	
						指標②	遊休不動産のまちづくり活用件数	0	2	件	R3.3.31	2	100%	a			
						指標③	リノベーション事業による新たな店子(事業者)数	0	2	件	R3.3.31	2	100%	a			
2-1	推進	いわてワインヒルズ推進事業 (岩手県、定住推進課、大迫総合支所地域振興課)	<p>(背景) ・「日本ワイン」の原料となる国産ぶどうの確保に向けた動きが大手を中心に活発化している。 ・県内においてU・Iターン者によるワイナリーの新規開業が増加する見込みである。</p> <p>(事業の目的) 平成28年に構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農業者等による果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化、市外からの移住を含めた新たな担い手の確保が期待されており、その受け入れ態勢を整備するとともに、ワイン産地としての認知度を高め、交流人口の拡大を目指す。</p> <p>(事業概要)ぶどう農家の生産意欲の向上や、新規就農を含めた担い手の確保、ワイナリー新規参入者の発掘・人材の確保・事業化までの支援等を通じて、醸造用ぶどうの一層の生産拡大を進めるとともに、地域が一体となった特色ある高品質なワインを生み出す取組を推進し、ワイン産業を核とした、中山間地域等の活性化を図る。 また、花巻地域と周辺市町村の観光や食などの地域資源と併せて、県産ワインの魅力を県内外にPRすることで、ワイン産地としての認定度向上を図る。</p> <p>(具体的な取組) ・醸造技術習得支援事業補助金の交付 ・各種セミナーの開催 ・ワイナリー整備等事業補助金の交付 ・花巻ワインプロモーションイベントの開催 ・「ワインツーリズムいわて」の実施</p>	<p>・ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 ①醸造技術習得支援事業補助金 延べ1名研修 ②各種セミナー2回開催 延べ17名参加 ③ワイナリー整備等事業補助金 新規ワイナリー 1件 商品開発・委託醸造 1件 醸造設備導入 3件 販路開拓 3件 ・花巻ワイン飲食店活用プロモーション企画 ①BtoBプラットフォーム商談の利用、掲載数、花巻4ワイナリー。 ②Web展示会(2/24~2/26)の実施。開催数延べ8回。 ③花巻ワインフェア(3/8~3/31)の実施。都内9店舗で実施。</p>	13,151,000	指標①	県産ワインの製成数量	0	-	件	R3.3.31	-	-	-	<p>(県の指標であるため評価せず) 一市町村別のワイン製造量は把握不可(国税庁データは県単位での数値)</p> <p>(成果) ワイナリー事業者及び醸造志向者を対象としたマーケティング戦略を学ぶセミナーの実施及び日本ワインの最新事情等を学ぶセミナーを開催し、ワイナリー建設に向けた知識を学ぶ機会等提供できた。また、コロナ禍においてイベント実施等激減した中、既存ワイナリーの経営安定を支援するため、WEBを活用して効率的に首都圏等に花巻ワインをPR及び販路開拓へとつながるよう支援した。既存ワイナリーの事業拡大につながる設備導入費用、販路開拓に要する経費及び新規ワイナリーの建設にかかる費用の補助金を交付した。</p> <p>(今後の課題) コロナ禍において、イベント等のリアル開催が出来ていないことから、商談等への結びつけが十分に行われていないとされていると切り切れない。</p> <p>(課題解決に必要な取り組み) コロナ禍の状況を踏まえながら、ワインプロモーションの機会を引き続き創出していく。</p>	定住推進課	
						指標②	県内新設ワイナリー数	0	-	件	R3.3.31	-	-	-			
						指標③											
						指標④											
2-2	推進	いわてワインヒルズ推進事業 (岩手県、定住推進課、大迫総合支所地域振興課)	<p>(背景) ・「日本ワイン」の原料となる国産ぶどうの確保に向けた動きが大手を中心に活発化している。 ・県内においてU・Iターン者によるワイナリーの新規開業が増加する見込みである。</p> <p>(事業の目的) 平成28年に構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農業者等による果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化、市外からの移住を含めた新たな担い手の確保が期待されており、その受け入れ態勢を整備するとともに、ワイン産地としての認知度を高め、交流人口の拡大を目指す。</p> <p>(事業概要)ぶどう農家の生産意欲の向上や、新規就農を含めた担い手の確保、ワイナリー新規参入者の発掘・人材の確保・事業化までの支援等を通じて、醸造用ぶどうの一層の生産拡大を進めるとともに、地域が一体となった特色ある高品質なワインを生み出す取組を推進し、ワイン産業を核とした、中山間地域等の活性化を図る。 また、花巻地域と周辺市町村の観光や食などの地域資源と併せて、県産ワインの魅力を県内外にPRすることで、ワイン産地としての認定度向上を図る。</p> <p>(具体的な取組) ・新農業者フェアへの参加(大迫の新規ぶどう栽培者の募集に関するPR活動) ・葡萄酒が丘農業研究所が開講しているぶどうに興味のある方を対象とした「ぶどう塾」の塾生への実技や座学の指導 ・関係機関で組織する就農支援コーディネーターによる就農までに必要な農地の斡旋や定住支援</p>	<p>◆担い手育成支援事業 ①新規就農者に対する技術指導等を行う就農者技術指導員の配置 1名 2,148,584円 ②大迫ぶどう産業振興協議会への補助 1,270,000円 ③老朽化した醸造用ぶどう垣根施設等の小規模改修補助 8,460,091円 ④ぶどう園地における作業の省力化等を図るため、ロボット草刈機を2台購入 1,089,000円</p>	12,967,675	指標①									<p>(県の指標であるため評価せず)</p> <p>(成果) ・ぶどう栽培面積の増加は目標に届かなかったが、着実に増加してきている。新設に要する初期投資費用について補助事業を行ったことにより、ぶどう農家の負担軽減に繋がった。 ・2名が新たなぶどう栽培就農者となった。 ・ロボット草刈機を導入したことにより、ぶどう栽培の省力化に繋がった。</p> <p>(今後の課題) ・栽培面積の維持とぶどう栽培の省力化。</p> <p>(課題解決に必要な取り組み) ・就農支援コーディネーターが農地情報を詳細に把握し、新規ぶどう栽培希望者に対する農地の斡旋をスムーズに行う。 ・高齢化等によりぶどう栽培の継続が困難な園地を廃園させることなく、新規ぶどう栽培希望者等に継承するなどし、既存園地を減少させないよう、今後も引き続きワイン産業を核とした中山間地域等の活性化を図る。</p>	大迫総合支所地域振興課	
						指標②											
						指標③	花巻市のぶどう栽培面積	0	3.3	ha	R3.3.31	2	55%	c			
						指標④	花巻市の新規ぶどう栽培就農者数	0	2	人	R3.3.31	2	100%	a			

資料2 地方創生推進交付金対象事業実績報告書(令和2年度)

No.	① 交付金の種類	② 交付対象事業の名称	③ 事業内容	④令和2年度事業実績	⑤令和2年度 事業費実績(円)	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R2 実績値	達成率 (自動 入力)	判定 (自動 入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未達成要因	⑩事業の評価	担当課
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月							
3	拠点整備	新しい人の流れをつくる拠点賃貸工場整備事業 (商工労政課)	起業化支援センターや岩手大学生産技術研究センター(花巻サテライト)と連携しながら、市内企業及び誘致企業が新事業進出、海外進出への支援や新商品開発による付加価値増進など、海外の低価格製品に負けないよ企業競争力を維持しながら、マーケティング支援による販路拡大など、企業の稼ぐ力を高めながら、新規事業展開するため、開発スペースや緊急増産用スペースとして地域企業がシェアできる賃貸工場を建設し、市や起業化支援センターによるマッチングを進めていくもの。 賃貸工場150坪 月額使用料252,000/月	(H29施設整備済) 軽量鉄骨造平屋610.42㎡の工場1棟を建設(J棟) 事業費:20,109,893円		指標①	市内製造業の粗付加価値額(百万円)	77,207	100,367	百万円	R3.3.31	88,723	88%	c	食料品製造業における原材料使用量の増加や、飲料・たばこ・飼料製造業における製造品出荷額の減少が多くの産業分類で同時に起こり、業務用機械製造業等における粗付加価値額の上昇を越えて減少したため。	(成果) 本事業により整備した賃貸工場には、令和元年度に板金加工を営む市内製造業者が入居し、今後の事業規模拡大に向けた作業工程の改善や効率化に取り組んでいる。	商工労政課
						指標②	新規事業雇用者数(人)	0	20	人	R3.3.31	0	0%	c	賃貸工場の入居により実施する研究が「工程改善及び作業の効率化」であり、それらを図ることで生み出される新規事業及び新規雇用までには至らなかったため。	(今後の方向性) 入居企業においては、現在の社屋が手狭だが、社屋の増築や夜間の稼働が難しい立地であり、受注可能な案件に限られるため、用地取得や工場希望の拡大について、検討を要する状況にある。 そのため、賃貸工場を活用し、作業工程の見直しや作業効率化の研究を進めつつ、現在の社屋と賃貸工場の2か所の稼働により対応可能な案件の受注することで、この稼働体制下における業績を見ながら、今後の展開を検討する状況にある。	
						指標③	新商品開発、新事業進出件数(件)	0	1	件	R3.3.31	0	0%	c	賃貸工場入居時の研究テーマが「工程改善及び作業の効率化」であり、それらを図ることで生み出される新商品開発や新事業進出に直結する研究内容までには至らなかったため。	計画年度内において、賃貸工場入居企業による新商品開発や新事業進出及び新規雇用者の増加には至らなかったものの、賃貸工場を活用し、今後の事業展開の方針を固めることにより、新たな加工技術の開発や新事業への参入が進む可能性があることから、入居企業が必要とする支援を行う。	
4	拠点整備	オリンピックレガシーを生かした「田瀬湖ポート場」環境整備事業 (スポーツ振興課)	(背景) ・2020年の東京オリンピック日本代表の事前合宿地として内定している。 ・毎年大学や高校等の合宿地として活用されているが、宿泊施設までの距離が遠く、合宿地としての利用が伸び悩んでいる。 (事業の目的)国内外の代表クルーや大学、高校等の合宿所として活用やオリンピックレガシーを生かした大会開催や合宿誘致、更にはポートに限らずヨット、カヌーなどの体験を生かしたアクティビティの充実を図り、近隣市町村と連携しスポーツツーリズムなどを通じた観光ルート設定やイベント開催などによる新たな観光客の取り込みを推進 (事業概要)ヨットやカヌーなど市民のウォータースポーツに触れ合う場の創出のため、東和B&G海洋センター及び田瀬湖ポート場の管理運営を行う。 (具体的な取組:H29に事業完了) (1) 建築基準法及び消防法上の用途変更(簡易宿所)に伴う改修 (2) 合宿所として機能向上に係る改修 ①エアコン設置 ②畳の表替え ③タイルカーペット敷き ④浴室設置 ⑤ガス給湯設備設置(既存重油ボイラー廃棄) ⑥トイレ洋式化 ⑦洗濯室設置(既存ボイラー室のボイラーを撤去し、洗濯室化) ⑧取り付け道路アスファルト舗装	H29.5 事業開始 H30.3 事業完了 ○用途変更確認申請・艇庫改修 ・工事設計業務委託料 2,592,000円 ・艇庫改修工事管理業務委託料 864,000円 ・電気工事 11,181,240円 ・機械工事 24,518,160円 ・建設工事 34,784,640円		指標①	観光客入込数(万人)	217.7	220.8	万人	R4.3.31	108.8	49%	c	新型コロナウイルス感染症拡大のため、県外からの観光客の入込が減少した。	(成果) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあったが、屋外での練習、宿泊施設の協力を得て、ポート日本代表の強化合宿を実施できた。本事業によるオリンピックを契機とした施設整備による効果であると考えられる。	スポーツ振興課
						指標②	東和B&G海洋センター利用者数(人)	8,800	9,700	人	R4.3.31	3,664	38%	c	新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月～5月までは市民、市内団体のみ利用の制限(一部例外あり)、6月～11月20日まで県内在住者のみの利用の制限(一部例外あり)、11月21日～11月30日まで市民、市内団体のみの利用制限となり、利用者は減少した。	(今後の課題) ポート競技会場として高い評価を得ていることから、ポート場としての機能をさらに高めるとともにウォータースポーツの拠点として、周知を図りながら、にぎわいの創出が課題である。	
						指標③	施設利用収入(千円)	400	580	千円	R4.3.31	211	36%	c	新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設利用に制限があったため、収入額が減少した。	(課題解決に必要な取り組み) ・新型コロナウイルス感染症終息後の施設活用について、市内外に広く周知するとともに、カヌー、ポート等のウォータースポーツ体験教室等を実施する。 ・ポート競技場として高い評価を得ていることを最大限活用し、大規模大会の誘致や合宿地として、日本代表、大学、社会人チームの誘致を図る。	
5	拠点整備	イーハトーブの四季を彩る「宮沢賢治童話村野外ステージ」整備事業 (賢治まちづくり課)	(背景) ・宮沢賢治童話村の施設の一部である「野外ステージ」は6,000㎡の芝生広場に面し、周りを森林に囲まれ自然を体感できる場所であり、宮沢賢治関連イベントをはじめとする各種イベントで利用されている。 ・大規模イベント開催時には、仮設ステージの設置が必須となり、開催経費が増大するため、開催地として選択されにくい。 (事業の目的) 野外ステージを改修することで、荒天時の緊急退避場所としての活用が可能となるほか、屋根への音響設備の設置や大型スクリーンの設置が可能となり、近隣市町村と連携した郷土芸能公演による地域文化の発信や、今後国内外で開催される大規模スポーツ大会等のパブリックビューイングの実施など、宮沢賢治だけではなく多様な大規模イベント開催スペースとして活用しようとするものである。 (事業概要)野外ステージの改修 (具体的な取組:H29に事業完了) 野外ステージを、荒天時の緊急退避場所として活用したり、屋根への音響設備の設置、大型スクリーンの設置が可能となるように改修する。	H29.11 事業開始 H30.3 事業完了 野外ステージの概要 所在地 宮沢賢治童話村 (花巻市高松第26地割地内) 構造 鉄骨造 新設鉄骨柱4本、アルミたて樋付アーチ型 屋根 長尺ガルバリウムカラー鉄板葺き ステンレス加工張(1.5mm) 軒裏 7.4m(建物最高点9.3m) 軒高 98m 延床面積 木材(キシラデコール塗り仕上げ)		指標①	イーハトーブフェスティバル来場者数(人/日)	2,100	2,400	人/日	R4.3.31	0	0%	c	新型コロナウイルス感染症の影響により、イーハトーブフェスティバルの中止を余儀なくされたことによる。	(成果) 新型コロナウイルス感染症による公共施設の利用制限や、他地域からの移動制限等の外的要因によって事業自体を中止しており、評価ができない。	賢治まちづくり課
						指標②	観光客入込数(万人)	222	222.3	万人	R4.3.31	108.8	49%	c	R1観光客入込数211.8万人と比較して48.6%もの減少であり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものと思われる。 なお、宮沢賢治童話村の入場者数も前年度より48.1%減少しており、観光客入込数と同様の傾向が見られた。	(今後の課題) 改修した野外ステージを有効に活用できるよう、感染症が縮小した際の活用方法を定める必要がある。	
															(課題解決に必要な取り組み) 新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、可能な範囲で宮沢賢治に関する啓発や情報発信を行いつつ、		

資料2 地方創生推進交付金対象事業実績報告書(令和2年度)

No.	① 交付金の種類	② 交付対象事業の名称	③ 事業内容	④令和2年度事業実績	⑤令和2年度 事業費実績(円)	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R2 実績値	達成率 (自動 入力)	判定 (自動 入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未達成要因	⑩事業の評価	担当課	
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月								
6	拠点整備	南部杜氏の里から日本酒文化を発信する「いつでも行きたい」交流拠点「道の駅石鳥谷」の形成(石鳥谷総合支所地域振興課)	<p>(背景) 道の駅石鳥谷の課題として、①道の駅構内の各施設が前面道路である国道4号の正面を向いておらず、視認性が悪いほか、施設間の回遊性が悪い、②駐車スペースが不足しておりトイレが老朽化している、③インバウンドの増加や個人旅行者の増加により、道の駅利用者のニーズが変化・多様化しているなかで、道の駅構内の各施設がこうしたニーズに対応できていないといったことが挙げられ、利用者が減少している。</p> <p>(事業の目的) 国土交通省と市が連携・協力し、①南部杜氏の里の魅力発信と地域の憩い・交流の場の形成、②道の駅への視認性と分かりやすい進入動線の確保、③施設機能・配置や動線等の見直しによる利便性・回遊性の向上、④将来予測交通量に対応した駐車場の整備・トイレ器数の確保に取り組み、施設の利便性の向上と施設の一体的な活用を図る。</p> <p>(事業概要) ・南部杜氏伝承館を曳家し、道の駅の前面道路である国道4号に対して、道の駅構内の各施設が正面を向くようにレイアウトを変え、施設の回遊性を上げる。 ・南部杜氏の里の魅力発信として、南部杜氏伝承館内に試飲・販売ができるコーナーを新設するほか、多言語表記の充実や関係機関との連携によるインバウンドの誘客の推進を図るための改修実施設計を行う。 ・地産食材を活用したレストランであるりんどう亭と地域の特産品の販売を行う酒匠館が、道の駅の前面道路である国道4号に対して正面を向き、かつ現在の道の駅利用者のニーズに応じたサービスが提供を図るための改修の実施設計及び工事を行う。</p> <p>(具体的な取組) ・道の駅「石鳥谷」内の南部杜氏伝承館の曳家等工事 ・酒匠館・りんどう亭大食堂の改修設計及び工事 ・南部杜氏伝承館の内部展示改修設計 ・南部杜氏伝承館の浄化槽の撤去 ・りんどう亭の天井・クロスの張替や屋根の塗装等</p>	<p>① 南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計等 曳家等工事、同工事監理業務委託、出入口工事、展示改修設計、伝承館内の展示物搬出等を行った。</p> <p>② 酒匠館・りんどう亭大食堂改修設計等 酒匠館・りんどう亭大食堂の新設出入口や内部等の改修のための実施設計を行ったほか、りんどう亭大食堂の新設出入口や内装等改修工事を行った。</p> <p>③ 外構部の支障物件撤去 南部杜氏伝承館の浄化槽撤去を行った。</p>	<p>合計 169,068,900 ① 128,412,900 ② 39,391,000 ③ 1,265,000</p>	指標①	道の駅構内での各施設(南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭)での売り上げ高	134,923	23,000	千円	R7.3.31	-65,219	-284%	c	D	新型コロナウイルス感染症の影響でGW中の休業要請、お盆時期の帰省の自粛、営業時間の短縮などにより道の駅の利用者が通常時に比べ大きく減少したため。	<p>(成果) 南部杜氏伝承館の曳家による移設やその他支障物を除去し、視認性や回遊性を向上させる施設配置が進んだほか、りんどう亭大食堂の内装改修等を実施し、利便性や機能性の向上が期待される。</p> <p>(今後の課題) 物産等販売を行う酒匠館の内装改修のほか、屋外イベントにも活用できる広場や駐車場の整備を進め、エリア全体の施設再編整備の着実な推進とリニューアルに相応しい運営体制を確立する必要がある。</p> <p>(課題解決に必要な取り組み) 国(国土交通省)が整備する施設もあるため、スケジュールのほかエリア全体の調和も含め、国と連携し円滑に事業を推進する。</p>	石鳥谷総合支所地域振興課
						指標②	道の駅構内での各施設(南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭)の購買客数	85,121	13,900	人	R7.3.31	-35,137	-253%	c		新型コロナウイルス感染症の影響でGW中の休業要請、お盆時期の帰省の自粛、営業時間の短縮などにより道の駅の利用者が通常時に比べ大きく減少したため。		
						指標③	石鳥谷地域内のイベント観光客入込数	46,366	2,000	人	R7.3.31	-46,366	-2318%	c		新型コロナウイルス感染症対策として、地域内のイベントが全て開催中止となったため。		